

立少トントンたんけん隊(研修支援事業)

1 ねらい

低年齢期の子供を対象として、豊かな自然環境の中で、できるだけ多くの子供たちに自然体験活動を提供する。子供たちに自然の中での活動を好きになってもらい、「また自然の家に来たい！」と感じてもらおう契機とする。

2 期日

年間を通じて実施

3 対象

幼稚園・認定こども園・保育園・保育所の子供たち

4 参加団体数・参加人数

247団体・8,903名
(うち、宿泊利用団体30団体・2,637名)

5 講師・スタッフ

国立立山青少年自然の家 研修指導員2名
国立立山青少年自然の家職員



6 日程(例)

日帰り	午前	午後
雪のない時期 (春～秋)	事前学習 トントンの森散策	前谷の沢歩き ぼうけん広場で遊具遊び
雪のある時期 (冬)	事前学習・しり滑り トントンの森散策	チューブそり滑り

宿泊	午前	午後	夜
1日目	事前学習	前谷の沢歩き	キャンプファイヤー
2日目	登山(大丸山・来拝山)	昼食後 退所	

7 参加者(引率者)からの感想

- 話し方、接し方が丁寧で、自然の見るもの全てに興味注がれ、好奇心を刺激させてもらいとても楽しんでいました。子供たちを大らかに受け止めていただき、指導のすばらしさも勉強になりました。
- 自然の中で生き生きと遊ぶ子供の姿が見られてよかったです。
- 荒天のため館内での活動になったが、子供たちがいろいろ歩き回り冒険できたようで楽しめていた。
- 新雪の中を歩く楽しさ、チューブそりの迫力、子供たちからは笑顔がたくさん見られました。



8 成果

- 宿泊を考えている園に対して広報活動を行い、新規宿泊団体で4園の利用があった。活動や所の利用について細目に対応することができ、今後の利用にも繋がった。
- 保育士を対象とした研修会で「自然体験活動」についての講演を実施した。「立少トントンたんけん隊」の広報も行うことができ、認知度は確実に上がっている。



9 今後の課題

- 高い教育的効果が見込まれる宿泊を伴った利用形態を推奨できるよう、宿泊の魅力を再度伝えていき、今後の利用者増を図る。
- 親子で参加できる事業を立ち上げ、親子活動の楽しさを前面に打ち出していく。今後は、保護者の自然体験への意識を高めていき、活動後も親子で施設を利用していただけるよう周知していく。